



終戦から77年を迎える2022年、国際平和文化都市“広島”を本拠地に活動する広島交響楽団(以下、広響)が音楽総監督の下野竜也とともにアルカスSASEBOのステージに初登場します。広島と長崎・佐世保が音楽で繋がる一夜。コンサートに向けて、下野竜也さんにお話を伺いました。



広響のキャッチフレーズ「Music for Peace ～音楽で平和を～」の言葉に込められた想い、広響との活動の中で大切にしていること・理念とは。

広島をヒロシマと書くと自ずと意味が変わります。ナガサキもそうでしょう。現実に廃墟から復興を成し遂げた先人の方の血の滲むような努力の中、荒廃の中にも音楽をという市民の皆様からのご声援で生まれた広島交響楽団。忘れてはいけないもの、目を逸らしてはいけないもの。次世代の子供達が笑顔でいることが出来る事などをいつも思うオーケストラでありたいと言う意味で私は捉えています。音楽で戦争を止められないかもしれませんが、音楽でその思いを人々の心に届ける事は出来ると思っています。



2020年8月6日
「平和の夕べ」コンサート
藤倉大: ピアノ協奏曲第4番
「Akiko's Piano」
世界初演
(指揮: 下野竜也
ピアノ: 萩原麻未)



国際平和文化都市“広島”のオーケストラとして『「平和の夕べ」コンサート』をはじめ、音楽を通じて平和のメッセージを発信する活動を様々行っている広響。そのなかでも印象的であった出来事や出会いがありましたらお聞かせください。

2019年、ポーランド ワルシャワに訪問し、著名な音楽家達との共演、ベートーヴェンの第九を演奏した事は大きなトピックだったと思います。しかしながら、こうして音楽活動が出来ている事が平和であるという事をいつも思いながら演奏をしています。



2019年8月18日
ワルシャワフィルハーモニーホール
「シヨパンと彼のヨーロッパ」
国際音楽祭2019
(指揮: 下野竜也
広響 & シンフォニア・ヴァルソヴィアとの
合同オーケストラ)



今回の佐世保公演では「音楽が紡ぐ、平和への祈り」と題し、広島と長崎・佐世保が音楽で繋がり、そしてコンサートを通じて共に平和を祈る機会になることを願っています。プログラムに込められた“平和のメッセージ”を教えてください。

音楽には色々な力があると思います。また、色々な理由や事柄で生まれた(作曲された)ものがあります。祈りや慰めの音楽、勇気や元気の湧く音楽。隠されたメッセージを含む音楽。今回のプログラムはそれらが網羅されています。



今回、ラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》のソリストを務めるのは清水和音さん。おふたりは幾度も共演されていますが、下野さんにとって清水さんはどのようなピアニスト(存在)ですか。

協奏曲は、合わせれば良いで済ませない。一緒に音楽を作る。お互いに音楽を投げ掛ける事を、最初に教えて下さった恩師の様な方です。お人柄も毎回魅了されます。



2019年9月13日
広島文化学園HBGホール
第393回定期演奏会
(指揮: 下野竜也 ピアノ: 清水和音)



これから先、下野さんと広響とが思い描く“平和”の形とは。

ことさら、大声で「平和」「平和」と叫ばずとも、静かに我々の存在と奏でる音楽が「平和」を思う、感じて頂ける様になれば良いなと思います。



広島平和記念公園にて

広島と長崎・佐世保が音楽で繋がる一夜

広島交響楽団 佐世保公演～音楽が紡ぐ、平和への祈り～

9月24日(土) 開場18:15/開演19:00
■大ホール

【全席指定】S席 5,500円 A席 4,500円 B席 3,500円 学生(小～大学生)各席2,000円(当日500円増)

(出演) 下野竜也(指揮)、清水和音(ピアノ)、広島交響楽団(管弦楽)

(予定曲目) ミゼレーレ(Z.コダーイ/下野竜也編)、ピアノ協奏曲第2番 八短調 op.18(S.ラフマニノフ)
交響曲第5番 二短調 op.47(D.ショスタコーヴィチ)



©Mana Miki

関連企画

広島交響楽団メンバーによる金管五重奏コンサート 開催日:7月30日(土)

時間・会場等の詳細は公演チラシ(6月中旬配布開始予定)にてご案内します。